

そこに意味が加われば、  
8050問題の見え方も変わる



山林相続は負債相続の現状

物事の見え方や捉え方は変化する。「新しい意味」を探る努力を怠らなければ、日々の生活は新鮮な驚きに満ちている。と言われる一方で、ひきこもりの子に多く相続するなど、高齢の親に不安が募る状況があります。負債扱いの山林を、現金化する努力を怠らなければ、見え方が変わってきませんか。



2026.03.15

伊尾木川最下流の大山岬開催:第1回 野外コンサート

環境の価値は、人工的にそれを創った場合の価格だと言われています。やなせたかしさん作詞の情景を、体感できる環境は、クルーズ船ツアーにもお勧めできる価値があると思いませんか。

歌いながら体感  
手のひらを太陽に

BLUE FOREST BLUE OCEAN

伊尾木川・安芸川流域

# 山林新聞

## 出口戦略：山林負債をお金に変える



上流

今、縁ある企業の共感を



上流

森林鉄道の歴史があった



上流

過疎化した源流地区には

安芸市の流域では、森林施業と稲作の文化がありました。今では、山は廃り、稲作農家も縮小している現状があります。しかし、伊尾木川源流のブナ林(水)・人工林(住)、安芸市産のコメ(食)は、価値ある資源だと思っています。課題は、協働の森づくり事業などの共感を、継続的に金のお金の回る仕組みへと育てることだと考えます。孫世代に誇れる遺産にしませんか。



中・下流

加工・体験を通じ収益に繋げ



輸出規模 4,345億円/年

安芸市の人工林を毎年20%間伐(持続可能量)

20倍

海・世界の需要

継続的に金がお金回る仕組みを創り



下流

孫世代に引き継ぎたい

## コンテナ型木材ストック

2026.03.15



イベント開催の負担:テントの設置・撤去

R5森づくり市民ワークショップ(安芸市)では、山の中でのコンサート開催と合わせて、コンテナハウスを作り、イベント会場に使いながらストックする意見が出されました。設置撤去を要しない設備は、イベント開催を容易にします。

今回の発行所  
みなとまちづくり共同体  
資料協力



- 今回の配布先
- ・安芸市
  - ・海の森づくり推進協会
  - ・建設会社
  - ・高知県内移住者
  - ・高知県木材協会
  - ・港湾行政
  - ・シーベジタブル
  - ・自伐型林業推進協会
  - ・鉄工所
  - ・JF高知 室戸統括支所
  - ・天然資源活用委員会
  - ・フォレストオーシャン
  - ・みなとまちづくり共同体
  - ・室戸市
  - ・室戸市観光協会
  - ・株式会社 柳沢林業